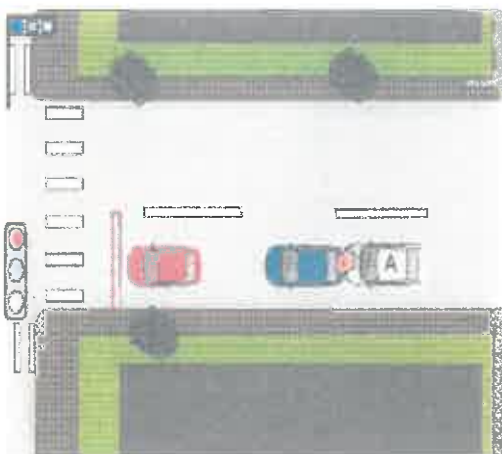


### 事故原因を考えてみましょう

運転者Aは、赤信号に従い車間距離1mでシフトレバーをDレンジに入れたまま、サイドブレーキをかけず停車中、助手席に置いた携帯電話の着信ベルが鳴り、通院中の妻からの電話であったために応答していた所、フットブレーキの踏み込みが緩まり、車両が前進し、当方車の前部が前方で停車中の乗用車の後部に追突した。



これは、国交省運輸安全マネジメント研修の「ひやり・はっと情報の収集・活用法(リスク管理)の理解を深めるために」で出た問題です。

なぜ追突してしまったのでしょうか?ご自分の習慣を含めて書き出しみてください。回答は次号でいたします。(国交省資料より)

### 木曾川の伏流水

### 「おりひめ 木曾川が織りなす水」



防災用に5年間  
備蓄飲料水として  
準備致しました。

### 8月の定例会

平成 28 年8月7日(日)  
定例会 9:30~10:00  
勉強会 10:00~12:00  
一宮市出前講座:「知って安心~  
老人福祉サービスと介護保険」



### 予定

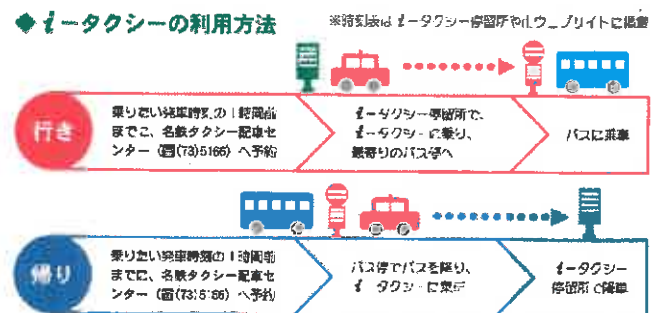
- 平成 28 年 7 月
- 17日(日) 赤見プール開き  
放課後デイ親子デイキャンプ協力
  - 19日(火) 認知症紙芝居(知多市岡田小)
  - 21日(木) 放課後デイ事務局会議  
福祉とボランティア展分科会
  - 22日(金) ボランティア体験学習事前研修会
  - 25日(月) 修文女子高ボランティア体験学習
  - 26日(火) 一宮七夕飾りコンクール参加
  - 27日(水) 愛知淑徳大学訪問
  - 28日(木) 放課後デイ樹の風による音楽療法
  - 29日(金) 福祉有償運送運営協議会(稲沢)  
北部中ボランティア体験学習
  - 30日(土) 理事会
- 平成 28 年 8 月
- 1日(月) 中部中ボランティア体験学習
  - 2日(火) 放課後デイ事業所連絡会  
介護保険指定事業者講習会  
一宮北高ボランティア体験学習
  - 5日(金) 今伊勢中ボランティア体験学習
  - 7日(日) 定例会・勉強会
  - 15日(月) 会報発行  
木曾川高ボランティア体験学習



# まごころ

## 地域と最寄りのバス停を結ぶ i-Taxiを7月から試行運行

一宮市では来年の3月31日までの期間限定でi-Taxiの運行が7月1日から始まりました。(詳しくは市広報やホームページで)



高齢化に伴い運転免許証は返納したけれど、子どもたちは遠くに住み、サロンに行きたいけれど、歩いて行けないし、自転車も乗れない。このような移動に困る高齢者には少し朗報です。

しかし、バス停から目的地までがまた、問題であります。やはり、安心な移動としては玄関から玄関ではないでしょうか。

NPO法人一宮まごころでは、介護保険の認定者等に福祉有償運送という移動サービスがありますが、要支援者が介護保険からはずれ、道路運送法では移動困難者の対象ではなくなり、基本リストに載っていれば送迎可とは言われますが不安は残ります。

制度の枠にとらわれず、一人では外出できない方が地域のサロンに出かけられる仕組みが必要ではないでしょうか。

運転ボランティアさんには運転料をお支払いし講習も受けていただく。そして利用者さんには利用料を支払って頂く。それが安全で安心した継続できる移動サービスと言えるのではないのでしょうか。(諫山)

### 特定非営利活動法人一宮まごころ

〒491-0041 一宮市文京1丁目4-6  
TEL0586-73-8707 Fax 0586-73-8870  
E-mail magokoro@plum.ocn.ne.jp  
ホームページ <http://www.npo-magokoro.jp>  
放課後デイサービスまごころレフト・ライト  
〒491-0023 一宮市赤見4丁目2-4  
TEL0586-25-2667 Fax 0586-25-2668  
E-mail magokorojidou@plum.ocn.ne.jp

### 1%支援制度フォーラム in 一宮 2016

~お金の流れで社会を変える~  
平成 27 年 7 月 9 日 (土) 10~17 時



午前中は、基調講演  
■1%支援制度の意義と可能性(愛知学院大学教授 鶴飼宏成氏)  
■NPOを取り巻くお金の流れ  
(日本ファンドレイジング協会代表理事 鶴尾雅隆氏)

午後からは、分科会の3テーマ「寄付」「融資」「助成」について各会場に分かれて開催されました。「融資」の分科会では、

コミュニティ・ユース・バンク momo  
副代表理事 長谷川友紀氏  
日本政策金融公庫名古屋広域営業推進室室長 加藤慶文氏  
NPO法人志民連いちのみや理事長 星野 博氏  
3氏による討議が行われ、参加者もグループに分かれて意見交流もありました。NPO法人が持続的に活動を続けるためには、寄付・助成だけでなく融資を受ける必要もあると感じました。また、ビジネスモデルとしてはっきりとした目標・計画を立てる必要性も感じました。

### 平成 28 年 8 月から

### 食費・部屋代の負担軽減見直し

自宅で暮らす方、保険料を負担する方、老齢年金を受給している方との公平性を更に高めるため、食費・部屋代の負担軽減措置の利用負担段階の判定に、非課税年金(遺族年金・障害年金)も含めるよう見直されます。

食費・部屋代の利用者負担段階の判定に用いる収入には、現在は課税年金(老齢年金など)収入のみが対象になっておりますが、8月から**非課税年金(遺族年金と障害年金)収入**も含めて判定することになります。

月	協力	利用	賛助	合計	市民事業					介護保険				障害福祉サービス							
					有償活動					訪問介護	通所介護	居宅介護支援	居宅介護	移動支援	まごころレフト	ライト					
					在宅	移動サービス	以外	ふれあいサロン	回数								時間	延人数	件数	回数	時間
5月	57	50	30	137	151	189.0	96	2	13	187	593	584.6	80	64	391	453.8	31	58.5	24	152	163

### NPO法人一宮まごころ

### 事業内容

